

お祝いのことば

この度、南加（南カリフォルニア）岐阜県人会が創立100周年を迎えられ記念式典を開催されますことは誠に意義深く、心からお喜び申し上げます。

顧みますに、1900年代初頭に海もない岐阜県から南加へ移住されました県人の方々は、南加日系社会の礎を築いた先駆者であり、大変なご苦勞を重ね、相互扶助のもと、幾多の試練や苦難を乗り越え確固たる地位を築いてこられたことに、心より敬意を表する次第でございます。

可児市では、現在約5,700人の外国人の方が住んでいます。その多くは南米や東南アジアを中心とした日系外国人であり日本での定住化が進んでいます。こうした中で、市では多様な文化や習慣を持つ人々が、互いの多様性を尊重しあい、誰もが地域への愛着と夢をもって、共に安心して暮らせる多文化共生のまちを目指して取り組んでいます。

南加県人会のこれまでの取り組みは、本市の多文化共生のまちの理念にも通じるところがあり、今後とも多様な文化交流の発展にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆様におかれましては、この意義ある創立100周年を契機として、次の100年へ向けて新たな一歩がスタートいたします。皆様が南加と岐阜県をつなぐ架け橋としてご活躍いただきますことを心から願っております。

末筆ながら、南加岐阜県人会のますますのご発展と、皆さま方のご健勝をお祈りいたします。

平成23年8月28日

岐阜県可児市長 富田成輝